

* 2012年12月17日現在の概要と評価（12月20日更新）

1 鳥インフルエンザ（A/H5N1）ウイルスによるヒトの感染症と関連した動物衛生事象

2003年から2012年12月17日までに、610例の鳥インフルエンザA型（H5N1）ウイルスによるヒトの検査確定症例がWHOに15カ国から公式に報告され、そのうち360例は死亡例です。2012年1月以降では、32例のヒトA型（H5N1）ウイルス感染症例がWHOに報告されています。

2012年11月5日の最終更新から、2例のインフルエンザA型（H5N1）ウイルス感染症の新しいヒトの検査確認症例がWHOに報告されました。2例の内訳は、エジプトでの1例とインドネシアでの1例（死亡例）です。

表1 2012年11月5日から12月17日の間に報告された鳥インフルエンザ（A/H5N1）によるヒトの検査確定症例

国	地域	年齢	性別	発症日	入院日	死亡日	治療開始日*	暴露源
エジプト	デミヤ県	2才	女性	2012年 12月3日	2012年 12月1日		2012年 12月4日	裏庭飼育の家禽（コト、アヒル）
インドネシア	西ジャワ州	4才	男性	2012年 11月30日	2012年 12月5日	2012年 12月6日		近所の家禽（アヒル）

* オセルタミビルによる治療開始日

前年の資料によれば、家禽でのH5N1インフルエンザ報告事例の増加は、年間のこの時期には想定されています。家禽での周知のインフルエンザA型（H5N1）ウイルスの活動で今月各国から報告されたヒトの散発症例は、想定された範囲内です。ヒト-ヒト感染が示唆される事案は、一例も報告されませんでした。

鳥インフルエンザA型（H5N1）ウイルスの公衆衛生上のリスク評価
公衆衛生上のリスクは残ったままです。

2 ヒト流行型以外のインフルエンザウイルスによるヒトの感染症

A（H3N2）変異型ウイルス感染症

アメリカ合衆国（USA）は、アイオワ州で第47週中に変異型インフルエンザウイルス（H3N2v）感染症の新しいヒトの症例を報告しました。発症前の週に、症例はブタまたは他の家畜との接触歴はありませんでした。調査は進行中ですが、症例との接触者には更なる患者は確認されませんでした。

変異型A型（H3N2）インフルエンザウイルスの総括的公衆衛生リスク評価

このウイルスはアメリカ合衆国でブタ集団に循環しているので、更なるヒトの症例と小さな集団発生が予測されるかもしれません。状況の緊密な監視が付託されています。

インフルエンザウイルスが絶え間なく進化する性質があるため、WHOはインフルエンザウイルスの世界的監視の重要性を強調し続けており、日常のインフルエンザ発生動向調査を強化するよう、すべての加盟国に勧告しています。

そのようなヒト流行型以外のインフルエンザウイルスによるすべてのヒトの感染症は、国際保健規則（2005）に従い、WHOに報告しなければなりません。

図1 国別発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の疫学統計

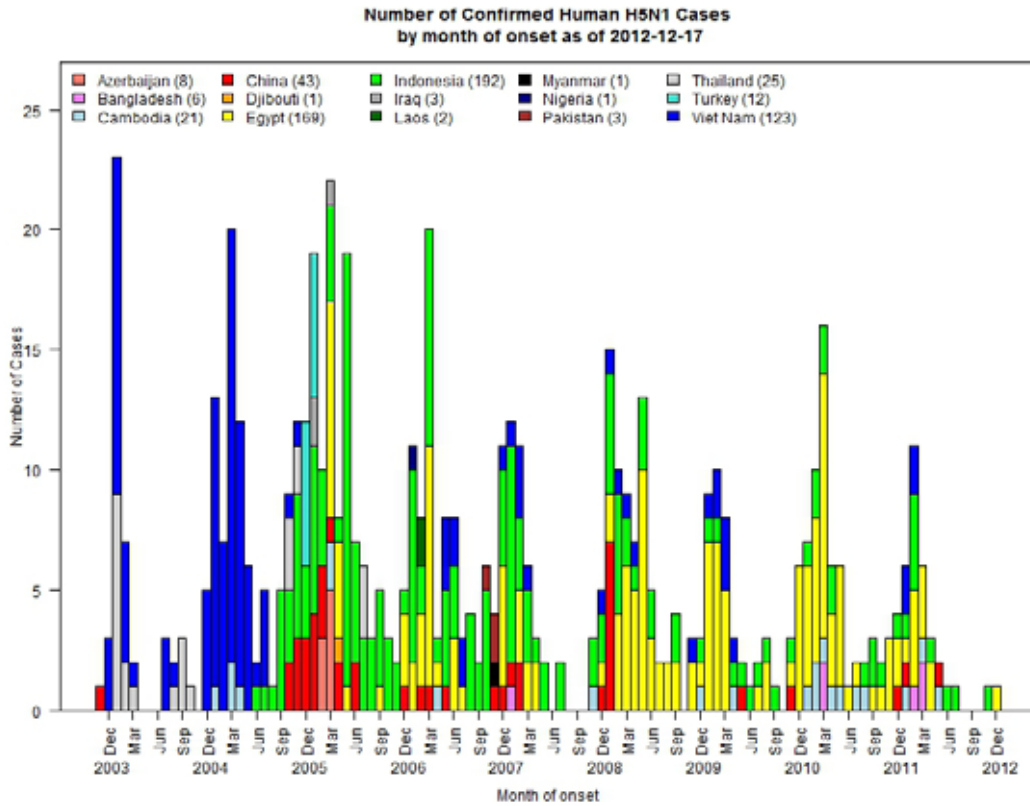


図2 2012年現在までのヒトの鳥インフルエンザH5N1症例発生地

